

コミュニケーションの教室 「桜教室」 だより



足立区立第七中学校

令和6年11月25日

【保護者の皆さまへ】

保護者会・進路学習会のご参加

ありがとうございました



先日はお忙しい中、保護者会・進路学習会に参加していただきまして、ありがとうございました。

進路学習会では、進路全般に関する基本的な説明に加え、都立高校の新しい取り組みや、都立高校の通級指導について、昨年度の足立区の特別支援教室を利用した卒業生の進路についてなどを説明させていただきました。今後の進路選択に生かしていただければ幸いです。

後半は、進路に関するいろいろな悩みを共有し、保護者の皆さんでアドバイスや意見を出し合える良い機会となりました。

3年生は、進路の選択という大きな決断をしなければならない時期を迎え、ご家庭でもいろいろと悩むことが多いと思います。分からないことやご不明な点があれば、いつでもご連絡ください。

また来年度以降も、少しでも進路に役立つことを企画していきたいと思っております。



【12月の三者面談について】



11月29日（金）から、三者面談が始まります。担任の先生との三者面談が終わり次第、引き続き「桜教室」でも、三者面談を実施しますので、3階の「桜教室」までお越しください。

「桜教室」での学習内容や、お子様の様子をお伝えし、これからの学校生活や進路について、一緒に考えていきたいと思っております。よろしくお願いたします。



【学習紹介～暗黙のルールについて考える】



今月は、「暗黙のルール」について、学習をします。

「暗黙のルール」は、学校生活や日常生活の中で、決まりや規則としては書かれていないけれど、なんとなくみんなが守っているものです。

「暗黙のルール」は、世の中にあられていて、「相手」を思いやる心遣いや礼儀にもとづいたもので、マナーに近いものです。

（例）授業中は、授業に関係のないおしゃべりはしない。

（例）友達が先生に注意されている時は笑わない。

（例）人前で鼻をほじらない。

などたくさんあります。

相手の立場になって考えると、どのように行動すればいいかわかってきます。

「暗黙のルール」を理解すると、行動が変わります。そして、「行動が変わる」と、人間関係がスムーズにいきます。学校生活や日常生活で、いろいろな状況を提示し、こんな時はどうしたらいいかを、相手の立場になって考えます。楽しく学べるように、「すごろくトーク」の形式ですすめていきます。

相手の立場に立って行動できる、素敵な中学生になってほしいと思っています。



【学習紹介～言葉の意味の違いを理解する】

学校生活や日常の生活の中で、状況や気持ちを、相手に伝える場面が多くあります。その中で、上手く状況や気持ちが伝えられずに、トラブルになることもあります。語彙が少ないこともありますが、話し手と聞き手で、言葉の受け取りが違うことが原因になっている場合が多くあります。

桜教室では、語彙を増やす学習、説明する学習を行っていますが、後期からは、言葉の微妙な違いによって、意味が変わってくることを学習していきます。言葉を正しく理解して使うことができれば、誤解からトラブルになることも減っていくと思います。

